

市報

やまぐち

http://www.city.yamaguchi.yamaguchi.jp/
http://www.city.yamaguchi.yamaguchi.jp/keitai/index.html
koho@city.yamaguchi.lg.jp

渡辺新市長にインタビュー P.2
だれもが社会参加できるまちづくりに向けて P.4
2005年山口市の主な出来事 P.8



2005 12.1
December
No.4

初登庁する渡辺新市長
(11月14日・市役所本庁にて)

特集

渡辺新市長にインタビュー

誇りのもてる伸びゆく美しい県都山口へ

わなべすみただ
11月14日、渡辺純忠新市長が就任しました。就任しての感想やこれから4年間の抱負などを、市内在住の大学生が聞きました。

重責感と緊張感

岩本 市長就任おめでとうございます。就

任されての感想は。

岩本 19万市民のみなさんを幸せにしなければならないという、重責感と緊張感を感じています。初登庁の時には、職員に拍手で歓迎してもらひ、4ヶ月ぶりに再会できたことを感慨深く、光栄に思いました。

愛するふるさと山口がより輝くまちとなるために

岩本 さて、市長さんは山口市（旧徳地町）

出身でいらっしゃいますね。市長さんにとって山口市とは、どんな感じですか。

市長 山口市を離れたのは、大学生の時と

県の出先機関に勤めた時の合わせて7年間だけ。それ以外はずっと山口市で過ごしていますから、私にとってはふるさとであり、こよなく愛しているところですね。

岩本 私も山口市に生まれ育ち、愛着を持っています。ずっと住み続けたいと思つ反面、一度は外に出て、山口市を客観的に見てみると大切かなと、最近思っています。

市長 それはいい考え方ですね。私は助役を退いてから、2カ月ほど全国各地を旅行しました。そして、それぞれのまちづくりの仕方とか、人々の考え方などに触れ、「山口市はこのままでいいのかな?」と思いました。山口市よりも財政状況等が厳しい中でも、輝いているまちがある。そういうまちは、行政と住民がいいバランスで手を携えているんです。山口市も、ほかのまちに遅れを取らぬよう、今以上にもっと行政と住民のつながりを深めなければと思いましたね。やる気のある住民からの動きが

あり、それを行政が手助けするという形が、私が見た中では成功していました。

岩本 私は今、大学でメディア論の勉強をしており、熊本県の小さな村で、住民自らが村を紹介する番組を制作し、インターネットで世界中に発信していることを知りました。村長さんも出演されていて、官と民の協働のあり方の成功事例として、全国から多くの視察があるようです。

市長 その村の事例には、私も興味を持つていました。官と民の協働のあり方もさることながら、インターネットの活用の仕方も見習うべきところがあります。インターネットの良さは、情報の送り手と受け手の双向性があるところ。これからの方々の、非常にいい形を表していると思います。岩本さんが今後もしそのような番組を作られたら、ぜひ私も出演させてください。

岩本 ありがとうございます。

みなさん素直な方なんですよ。

「誇りのもてる伸びゆく美しい県都山口」を目指して

岩本 さて、市長さんが描く山口市の都市像とはどのようなものでしょうか。

市長 新県都のまちづくり計画（新市建設計画）に沿ったものと考えていますが、自分なりの都市像は、「誇りのもてる伸びゆく美しい県都山口」です。「誇りのもてる」というのは、「ここに住んで良かった、これからも住み続けたい」という気持ち。「伸びゆく」というのは、自活できるまちということ。そして一番特徴的なのが「美しい県都山口」。山口市は自然・歴史・文化が融合する美しいまちです。今ある自然を大事に保ち、市民のみなさんの心の中に宿り、生き続けていたる大内文化や明治維新といった歴史を大事にし、誇り高いまちにしたい

と思って净化されます。だから山口市の人は、



わたなべすみただ 渡辺純忠市長

旧徳地町出身、宮野在住。山口高校、長崎大教育学部卒。県職員を34年間務め、平成14年、旧山口市助役に就任。考古学が好きで、趣味は遺跡巡り。尊敬する人は吉田松陰。山口高校時代はラガーマンとして活躍。妻、息子、娘の4人家族。

30万中核都市の早期実現を

岩本 では、市長さんの今一番の関心事は何ですか。

市長 先ほど「自活できるまちでありたい」と申し上げましたが、やはり、自活するための最小単位である、30万人規模の中核都市をつくることが、今一番の関心事です。

岩本 任期中の実績を目指しておられますね。

市長 はい。まちが自活できるようになることが、これからまちづくりにおいて一番大切なことです。30万中核都市づくりには、利点のほうが多いのではないかと考えます。30万中核都市になれば、1,000億円規模の予算を組むことができ、かなり思い切った施策を重点的に打ち出せます。また、専門性を持つた職員、例えば医師なども市職員として採用することができるようになります。職員の専門性が向上します。高次の都市機能を持つことで、シンクタンクなども自活できるかもしれませんね。高い技

術を持つ職業人や専門店なども地元に定着し、産業の発展に寄与してくれるなど、市場の活性化も図られるのではないかでしょう。



いわもと 聞き手岩本めぐみさん

嘉川出身・在住。県立大学国際文化学部3年生。国際ジャーナリズム論を専攻。放送サークル「エトワール放送局」を自ら立ち上げ、地域と関わりを持った活動を積極的に展開。山口の魅力的な人を発見し「インターネットラジオ」を通して発信している。

http://www.seirei.ath.cx/aono/

こういったことから、防府市と阿東町との合併を早期に実現したいのですが、それに向けて私が今やるべきはいけないことは、それぞれのまちの住民、市議会議員、職員の方々が「合併したいな」という意識を持たれるよう、働きかけていくことです。また、道路整備などハード面の施策は、30万中核都市に必要かどうかも考えながら取り組みたいと思います。保険料などをソフト面の施策については、防府市や阿東町といつでも一緒になるよう均衡の取れた行政上の準備を行っていきたい。あとは謙虚な気持ちで、真心を持って防府市・阿東町のみなさんに接すれば、必ず分かり合えると思います。

岩本 私は、合併をするとまちが大きくなりすぎて市政が遠い存在となり、分かりにくくなります。行政の準備を行っていきたい。まちの中心が発展すればその市が発展するものだと思っていました。考え方自体が変わりました。

失敗を恐れず、何事にもチャレンジする気持ちを

岩本 では最後に、これから市長さんの抱負をお聞かせください。

市長 市民のみなさんとの相互理解のシステム作りを行いたいです。まちづくりは行政だけでは進められない。もちろん市民だけでも進められない。相互理解が重要と考えます。市民のみなさんのまちづくりへの参加機会をより増やすための「まちづくり条例」や「住民自治条例」を制定し、行政は持っている情報を市民と共有する義務を明確にし、市民には市政やまちづくりに参画する権利を再認識してもらいたいと思います。

岩本 市民と一緒にやって作り上げる市政を、明確に打ち出されるのですね。

市長 はい。条例制定だけでなく、職員の意識改革も必要と考えています。職員には、

くくなるのかなと不安に思っていましたが、そうではないところですが、お話を聞いてよく分かりました。

市長 住民のみなさんが不安に思われる部分を解消していくのは、リーダーである市長の舵取りの仕方いかんだと思います。

私の哲学に「周囲の発展無くして中心の発展無し」というものがあります。農山村地域の発展があればまち全体の所得が増え、農山村の人々が中心地を活性化します。

中心の発展だけを考えていっては、やがて市全体が埋没してしまいます。市民のみなさんにも、この感覚を持つていただきたい。

岩本 市長さんのお話を聞くまで、まちの中心が発展すればその市が発展するものだと思っていました。考え方自体が変わりました。

何事にも失敗を恐れずにチャレンジしてほしいと思います。時代は刻々と変化し、市民のニーズも多様化している。現状維持は後退を意味すると思います。チャレンジして失敗がつきものですが、失敗から得たものを大切にすると、その向こうには未来があると思います。市民のみなさんや、岩本さんのような可能性を持つた若い方々にも、ぜひいろいろなことに、大いにチャレンジをしていただきたいですね。

岩本 今まで市長さんとじつと堅いイメージだったのですが、お話を聞いて、とても柔軟な方だという印象を受けました。また、今まで官と民との間に壁を感じていましたが、山口市を良くしていきたいというお気持ちに共感でき、近い存在に思えるようになりました。今日は、市長さんのお考えに接し、大変感銘を受けました。



だれもが社会参加できる まちづくりに向けて

◆認知度アップに貢献したい

今回参加してみて思ったことは、大会の認知度がまだ低いということです。そのためにも、来年の大会も、また、できれば2007年に開催される国際アーリンピックにも出場して、一人でも多くの人に大会を知つてもらいたいと思っております。

みなさんは「ノーマライゼーション」という言葉を耳にしたことがありますか。これは、障がいのある人もない人も、あらゆる人が共に住み、共に生活できるような成熟した社会に改善していくことについて、一緒に月3日~9日の障がい者週間を機に、障がいのある方が職業を通して社会参加するということについて、一緒に考えてみませんか。

問い合わせ

市高齢障害課 (☎ 083-934-2794)

◆きっかけは上司の薦め

障がいのある方が職業技能を競う「第28回全国障害者技能競技大会(※1アビリティック)」が、10月29日から2日間にわたり、県維新百年記念公園を会場に開催されました。

本市からも県大会を勝ち抜き、県知事の推薦を受けた選手が出場し、多くの観客が見守る中、それぞれ得意分野で技能を競いました。

今回は、パソコン組立部門に出場され、銀賞を受賞された畠谷友幸さんに、大会に出席しての感想などについて伺いました。

10年ほど前に、職場で40台ほどのパソコンのメンテナンスを任せられました。現在は、他の部所にいますが、これまでかなりの数のパソコンを自分で組み立てたりしてきましたが、今回のパソコンの組立部門の出場につながりました。

大会に向けて特別な練習はしませんでしたが、大会までに数台のパソコンの修理や組み立てをやりましたので、それが実践としての練習になりました。

組み立てたものが正常に動くといつじとは当たり前で、今回の最大の課題は、「お客様に売れるものを作る」という点にありました。

金賞を受賞された方は、日頃パソコン関係の仕事をされている方で、配線の仕上げの美しさなど、商品として売れる出来映えを見て感心しました。自分は手の障がいのため、手を伸ばして力を入れることができないので、その点で差が出てしまったということはありました。が、初出



パソコンの組み立てに取り組む畠谷さん

(※1)アビリンピック

アビリンピック (ABILITY : 能力) とオリンピック (OLYMPICS) を合わせた造語で、全国障害者技能大会の愛称です。

この大会は、障がい者が技能労働者として社会に参加する自信と誇りを持つことができるよう、その職業能力の向上を図るとともに、広く障がい者の職業能力に対する社会の理解と認識を深め、その雇用の促進を図ることを目的としています。競技種目は、旋盤、洋裁、家具、電子機器組立、データベース、ホームペイジ、歯科技工など23種類です。

今回、山口市で開催された第28回大会は、初めて技能五輪全国大会と同時開催されました。

◆商品として売れるものを

大会では、県大会の時にはなかった新しい規格を使った課題が出されたので、そこに時間を取られた人が多かったようですが、自分はこれまでの経験のおかげでクリアすることができました。

金賞を受賞された方は、日頃パソコン関係の仕事をされている方で、配線の仕上げの美しさなど、商品として売れる出来映えを見て感心しました。自分は手の障がいのため、手を伸ばして力を入れることができないので、その点で差が出てしまったということはありました。が、初出

障がいのある方が、実際に職業に就き、自立していくためには、本人、事業主、家族、支援者それぞれの相互理解と十分な準備が必要となります。

今回は、障がいのある方の就労支援を行う機関の一つである「^(※2)山口障害者職業センター」で障害者職業カウンセラーをされている岩波さんにお話を伺いました。

就労に向けた支援について



「障害者職業カウンセラー」
岩波敏行さん

上で、何が自分に合っているかを探してほしいのです。

そして、就職するに当たっては、本人だけでなく家族などの支援される方も含めて、「準備して臨む」ことが大切になります。就職のために何をしなければならないかということを考え、自分を高めて臨めば、より就職というものが近くになります。その際には、センターに相談していただければ、「職業準備支援プログラム」を用意していますから、ぜひ利用していただきたいですね。

事前に十分な準備がないと、実際の面接の場面や仕事を進めていく際に困る場面が出てきます。

本人だけでなく、支援される方も、そのことを十分認識し、私たちが行っている準備支援というものを体験していただきことで、どういう点でアドバイスすべきかが分かってもらえると思います。

◆チャンスと対話の時間を

私たちカウンセラーは、障がいのある方が、就職を目指そうとする時に、まず、その方の障がいの状況や特性、職業能力を専門的に把握します。そして、その結果と本人の希望を踏まえた職業自立のための目標や目標に向けたステップ、手法などの提案を行っています。

◆準備して臨むことが大切

障がいのある方には、就職することを無理に押しつけるのではなく、自分の夢とか楽しみとうまくつなげ、自分から働いてみたいと思う気持ちを大切にしてほしいですね。

どうかかわっていいか分からぬといふことについて、ハローワークやカウンセラーが、障がいの状況と配慮してほしい内容をお伝えしますから、初めて雇用される事業主の方々の不安を軽減することができます。

そこには、まず、自分のやりたいこと、できること、できないことについて周りの人へのアドバイスを受けながら理解した

直接本人の声を聞くことで、どうしたらよいかが考えられます。

仕事をする上でも、指示するだけではなく、働く様子を見て、必ずチェックを入れ、そこに必要なアドバイスをしていただくことで、長く定着することができましたし、伸び幅を持つてもらえれば、必ず会社に貢献できるものです。

すべてにスピードが求められる時代ですが、それでも一人前になるには時間が必要です。時間を止めて、本人と対話する場を設けていただきたいと思います。

また、仕事をスムーズに行い、長い職業生活を送るために、障がい者とのコミュニケーションや施設の支援者、家族それぞれが言いにくいこともちゃんとよく話し合いまして、意識を共有することが重要なポイントです。



職業準備トレーニングの様子

(※2) 山口障害者職業センター
アビリンピックの開催団体でもある独立行政法人「高齢・障害者雇用支援機構」

の出先機関である「障害者職業センター（全国52カ所）」の一つ。障害者職業センターでは、障がいのある方や、障がいのある方を雇用する事業主の方などに対し、就職のための相談から職業生活における助言や援助といった職業指導・職業紹介業務、事業主指導業務と連携して行っています。

11月には、「障害者自立支援法」が成立し、平成18年4月から施行されることとなっています。みなさんも障がいのある方にかかるらず、だれもが社会参加できる社会を実現するために何ができるのか考えてみましょう。

障がいのある方が就労し自立していくためには、私たち一人ひとりが、障がいのある方に対する正しい認識を持ち、温かく支援していくことが大切です。

なににかかわらず、だれもが社会参加できる社会を実現するために何ができるのか考えてみましょう。

◇「障がいのある人」に表記を改めています。

「障害者」の「害」の漢字には、否定的な意味もあり、不快感を感じることがあります。そのため、市報では、「障がいのある人」「障がい者」などの表記に改めています。なお、法令やこれに基づく機関、施設、計画、事業などの固有名詞は従来通りとしています。

問い合わせ 市広報広聴課（☎ 083-1934-2753）

次期介護保険事業計画策定への取り組み

現在、市では「山口市すこやか長寿対策審議会」を開催し、平成18年3月の策定に向け「山口市介護保険事業計画」と「山口市高齢者保健福祉計画」の見直しを行っています。この計画は、平成18年4月以降の市民のみなさんの介護サービスの内容および提供量とそれに伴う保険料額を定めるものです。

問い合わせ 市介護保険課（☎ 083-934-2795）

市では、これまでの合併協議の流れと、介護保険事業の制度改正（7ページ「コラム」参照）を踏まえて、今後の市の高齢保健福祉施策の指針となる「第三次介護保険事業計画」（平成18～20年度）を策定します。

この計画に基づき、施策を推進するとともに、平成18年度から介護保険料を統一、決定することとしています。

山口市の介護保険事業の現状

「介護給付費は増加傾向」

平成12年の制度創設以後、本市でも介護サービスの利用は増加しており、これに伴い介護給付費も増加傾向で推移しています。

これは、制度の周知と高齢化の進行に伴い、要介護認定者が増加し【グラフ1】、特に要支援・要介護1の軽度の認定者が

大幅に増えていること【グラフ2】、また、介護サービスを提供する事業者の増加で、提供基盤の整備が着実に進んでいることがなどが要因と考えられます。

介護サービスのうち、居宅サービスについては、特に、通所介護（デイサービス）と訪問介護（ホームヘルプサービス）の利用が増加しています。また、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）、特定施設入所介護（介護付き有料老人ホームなど）も計画通り基盤整備が進み、給付額が増加している状況です。

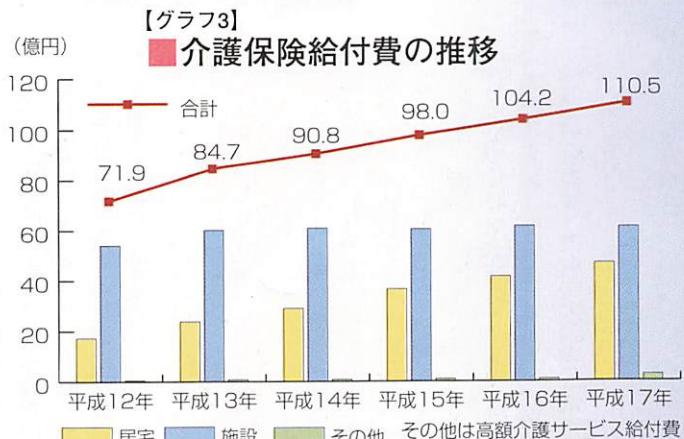
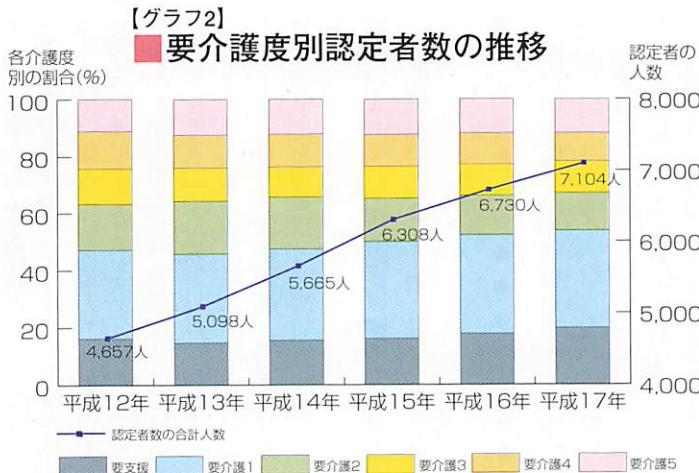
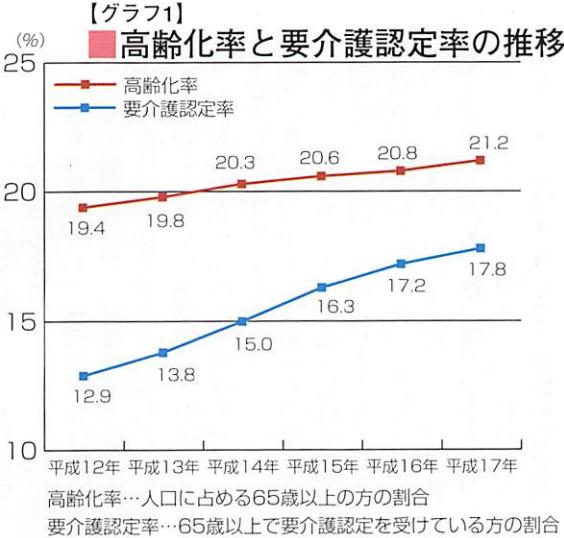
施設サービスについては、従来からサ

ー・ビス基盤が充実していることに加え、

施設の増床もあり、入所者は増加しているなどもあって、給付費は、ほぼ横ばいの状況にあります。

このような状況の中、保険給付費は、

平成12年度は、約72億円だったものが、16年度には104億円を越え、平成17年度以降も増加が見込まれます【グラフ3】。



*各年度の介護給付費の実績より（旧市町の給付費の合計、ただし、平成17年度は当初予算の合計額）

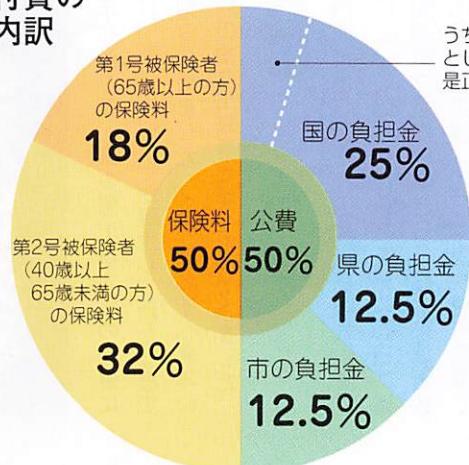
グラフ1,2はともに各年度の10月末の数値（平成16年度までは旧市町の合計数値）

山口市の 介護保険財政について

「介護給付費の財源は公費と保険料」

これらの保険給付費にかかる費用は、第一号被保険者（65歳以上の方）と2号被保険者（40歳以上65歳未満の方）から保険料と国や県からの支出金などで負担することになります【グラフ4】。

介護保険料の額については、介護保険事業計画の中で、3年間の介護サービスの利用見込みなどから決定し、3年ごと



【表1】

■山口市の「介護保険財政安定化基金」からの借入状況と「介護給付費準備基金積立金」(単位:千円)

	財政安定化基金からの借入金の残高	介護給付費準備基金積立金の残高
第一次介護保険事業計画期間（平成12～14年度）	242,327	175
第二次介護保険事業計画期間（平成15～17年度）	116,045	68,226
合計（17年度末見込額）	358,372	68,401

・基金借入金のうち、第一次計画期間分は9年償還、第二次計画期間分は3年償還の見込み
・合併前は、旧1市4町の合算数値 △（マイナス）は基金の取り崩しによるもの

に見直しをすることになっていますが、計画期間中に事業計画を上回るサービスの利用があった場合は、県が設置している「財政安定化基金」から借り入れ、給付費の支払いに充てることになります。

本市における第一次事業計画（平成12～14年度）と第二次事業計画（平成15～17年度）期間中の「〔※1〕介護給付費準備基金積立金」および「財政安定化基金からの借入金」の状況については【表1】の通りです。

〔※1〕介護給付費準備基金積立金：事業計画中の給付費支払に不足が生じた場合に備えるための基金

このうち借入金については、今後、第一号被保険者の介護保険料で償還するところになりますので、次期事業計画期間中も、極めて厳しい財政状況が見込まれています。

このうち借入金については、今後、第一号被保険者の介護保険料で償還するところになりますので、次期事業計画期間中も、極めて厳しい財政状況が見込まれています。

取り組みの状況

「よりよい計画策定に向け審議中」

市では、次期事業計画を策定するため、学識経験者、公募の市民、各地域の代表などで構成される「山口市すこやか長寿審議会」を設置し、10月27日の第一回目以降、審議を行っています。

今後、審議会において国の制度改正（下記「コラム」参照）を踏まえ、「地域包括支援センター」の設置や「地域支援事業」、保険料率の設定などの協議を行い、平成18年3月末を目途に、次期計画を策定することになっています。

計画策定に関するご意見を、郵便やEメールなどで、市介護保険課までお寄せください。介護保険制度などに関する資料は、市政情報「Y-Navi」（市役所1階エレベーター横）および、市ホームページ（表紙参照）でご覧になれます。

問い合わせ
市介護保険課

□ 083-934-2295
□ kaigo@city.yamaguchi.lg.jp

コラム 「国における介護保険制度改正の動向」

新制度の実施時期

介護保険制度は、平成12年の施行から5年が経過しました。今回の法改正に伴う新制度は、一部を除き、原則平成18年4月1日から実施されます。

改正の背景と目的

高齢化の進行に伴い、要介護認定者が増大しています。安定した制度運営を維持し、明るく活力ある超高齢社会を構築するために、今回の改正では、要介護状態の予防・改善を重視した「介護予防重視型システム」へ変換することが大きな柱になっています。

制度の主要内容

介護保険の基本理念である〔※2〕自立支援を徹底する観点から、次の取り組みを行います。

- ①介護度が比較的軽度の方の維持改善を目指す「新予防給付」、要介護・要支援状態になる前から介護予防を行う。
- ②住み慣れた地域での生活を支えるために、地域の実情に合わせた「日常生活圏域」を定め、圏域内での「地域密着サービス」の提供
- ③日常生活圏域内における総合的な調整や管理を行う中核的な役割を担う「地域包括支援センター」の設置
- ④自立支援：できる限り自立した生活を送れるように行われる支援

2005年

山口市の 主な出来事

本年10月1日、県央部1市4町の合併により、新「山口市」が誕生し、新たな歴史を刻み始めました。この記念すべき年の市内の主な出来事を振り返ってみました。

1月



「きらら館」入場者10万人突破（1月）

- 徳地町長選で伊藤青波町長（現職）が4選（15日）
- 第10回中原中也賞を三角みづ紀さん受賞（19日）
- 西京スタジアムで巨人VSS楽天のセ・パ交流戦開催（27日）

2月

- 秋穂町公共下水道供用開始（1日）
- 小郡町地域「ミニユニーク推進事業補助金制度」を創設（1日）
- 町上村高齢者女性等活動促進センター開所（11日）
- 大歳小学校増築校舎落成（一般見学会を開催）（15日）
- 史跡大内氏

4月



道の駅「きららあじす」オープン（3月）



各市・町の庁舎に合併期日までの日数を示すカウントダウンボード設置（5月）

5月

- 秋穂町公共下水道供用開始（1日）
- 小郡町地域「ミニユニーク推進事業補助金制度」を創設（1日）
- 長浜地区漁業排水事業供用開始（1日）
- 山口市市民農園3力所で順次オープン（1日）
- 小古祖多目的集会所開所（9日）
- 徳地町長選で岩城（27日）

28日

- 道の駅「きららあじす」オープン（26日）
- 秋穂長浜浄化センター通水式（28日）

3月



大内氏館跡「西門」一般公開開始（4月）

6月



ウインズ小郡オープン（5月）



県立大学サテライトキャンパス開学（6月）

- 県立大学サテライトキャンパス（徳地町地域づくり研究センター）開学（4日）
- 山口市川西土地改良区設立総代会開催（5月）

2005年

山口市の主な出来事



周布町資源物ステーション開設（7月）



柚野農産加工販売所開所（6月）

- 7月**
- （5日） ■ 秋穂町大滝地区で防犯パトロール「おおみ」活動推進協議会が設立（14日） ■ 徳地町柚野農産加工販売所開所（25日） ■ 各市・町で地球温暖化防止に向けクールビズ・ノーネクタイ運動実施



柚野木小学校竣工（7月）

- 念事業として山口市市民訪問団がスペイン・パンプローナ市訪問（11～18日） ■ 山口市嘉川に嘉川子ども館「しゅっぽっぽ」開館（12日） ■ 山口市立図書館が貸出冊数200万冊突破（16日） ■ 阿知須町戸籍総合システムが稼働開始（16日） ■ 片山食品（株）が山口テクノ第2団地に進出・調印式（19日） ■ 秋穂町内の車えび養殖場で、香月泰男画伯記念碑除幕（20日） ■ 柚野木小学校竣工（29日）

9月

- 周布町に資源物ステーション開設（1日） ■ 国民文化祭イベントの皮切りとなるファッショントエスティバル開催（11日） ■ 姉妹都市締結25周年記念突破（12日）
- 山口市民会館リニューアルオープン（1日） ■ 富野自転車クラブが交通安全子供自転車全国大会で団体優勝（1日） ■ 秋穂町保健センター供用開始（4日） ■ 山口市立図書館入館者数が100万人

- 德地町斎場が供用開始（1日） ■ 第15回えび狩り世界選手権開催（3日） ■ 知須町町制施行65周年記念「あじす町民



小郡町消防団が県消防操法大会小型ポンプの部で優勝（9月）

- 8月**
- （1日） ■ 小郡町の古郷調整池改修工事竣工（7日） ■ 県央部1市4町による第1回観光モニターツアーレを実施（11日） ■ 小郡町消防団（現市消防団小郡方面隊）県消防操法大会で優勝（17日） ■ 秋穂町町制施行65周年記念式典および閉町式（19日） ■ 阿知須町町制施行65周年記念式典および閉町式（22日） ■ 小郡町閉町式（23日） ■ 徳地町町政施行50周年記念式典および閉町式（23日） ■ 阿知須町地域交流センター「元気ハウス」開館に向けてオープニングイベントを開催（24日） ■ 山口市白石公民館落成（25日）



秋穂町保健センター供用開始（8月）

のつどい（3日） ■ 小郡町の古郷調整池改修工事竣工（7日） ■ 県央部1市4町による第1回観光モニターツアーレを実施（11日） ■ 小郡町消防団（現市消防団小郡方面隊）県消防操法大会で優勝（17日） ■ 秋穂町町制施行65周年記念式典および閉町式（19日） ■ 阿知須町町制施行65周年記念式典および閉町式（22日） ■ 小郡町閉町式（23日） ■ 徳地町町政施行50周年記念式典および閉町式（23日） ■ 阿知須町地域交流センター「元気ハウス」開館に向けてオープニングイベントを開催（24日） ■ 山口市白石公民館落成（25日）

10月

- （1日） ■ 県央部1市4町の合併により新「山口市」誕生（1日） ■ 平成17年国勢調査（1日） ■ 小郡・秋穂・阿知須・徳地の各総合支所開所式（3日） ■ 合併後初の市議会が開催（19日） ■ 第43回技能五輪全国大会、第28回全国障害者技能競技大会開催（28～31日）



初登庁する渡辺新市長（11月）

- 11月**
- （13日） ■ 合併後初の市長選、渡辺純忠市長就任



新「山口市」開市・開庁式（10月）

市政トピックス

「山口市行政改革推進本部」を設置しました

市では、11月18日、総務部行革推進課（市役所3階）に「山口市行政改革推進本部」を設置しました。

これは、厳しい財政状況の中で、合併効果を最大限に發揮するとともに、市民と行政との連携や協働、また、これから分権型社会に対応した行政経営などの実現に向け、行政改革を推進するため設けるものです。



看板を設置する渡辺市長（左）と平田行革担当部長

問合わせ 市行革推進課（☎ 083-934-29009）

問合わせ 市行革推進課（☎ 083-934-29009）
14ページをご覧ください。
行政改革大綱を策定する予定です。
同委員会の委員を募集します。詳しくは

本部には、総務部行革担当部長を幹事長とする幹事会を置くほか、必要に応じて幹事会に部会を設置し、行政改革大綱の策定などに取り組みます。

【本部組織】

・本部長：市長

・副本部長：助役

・本部員：収入役、教育長、各部長、各総合支所長、市議会事務局長、教育次長、水道局次長、消防本部消防長

今後は、行政改革に対する市民の意識やニーズ、また市の仕事や職場の課題などを把握するため、市民アンケートや職員アンケートなどを実施するとともに、シンクタンクを活用し、客観的、専門的な視点から課題分析のための基礎調査を行います。

また、基礎調査終了後には、行政改革のための具体的な施策について、民間有識者などを委員とする「山口市行政改革推進委員会」の意見を受けながら検討し、来年度中に行政改革大綱を策定する予定です。

同委員会の委員を募集します。詳しくは

新市の農業委員が決まりました

10月1日の新市発足に当たり、新たに農業委員が決まりました。

内訳は、選挙による委員71人、農協推薦委員3人、農業共済推薦委員1人、土地改良区推薦委員1人、市議会推薦委員4人の計80人（定数82人・欠員2人）で、任期は、合併に伴う在任特例を適用し、平成18年7月31日までとなります。

新市の農業委員は、農業者の代表として、地域の農業・農村の実情を把握するとともに、集落など地域の農地利用の再編を進め、認定農業者の支援や多様な担い手の育成、確保などを推進していきます。

【新市農業委員会役員および農業委員】

○新役員（敬称略）

会長 保賀哲／同職務代理者 安田敏男／農地部会長 安光幸助／同職務代理者 野村敏介／農業振興部会長 藤重義春／同職務代理者 末永洋三

○選挙による委員（71人 役員を含む）

△山口地区：山本清司、須子祐士、三好宣捷、徳本司、宮崎太、重宗哲美、中野光昭、保賀哲、木原義則、白木和正、吉田彦一、佐藤純示、永田瑛、石田忠明、田中修次、田中秋甫、則安武雄、海地博志、

重村長之進、野村敏介、本廣勝利、生田善光、末永洋三、小野吉恵、藤原朝則、渡邊輝男、岡村成志、益富嘉男、藏岡明弘、山田昌治

△秋穂地区：松田悟、河野守彦、安光幸助、上山新一、上田好壽、道中憲治、藤村信勉、廣中弘司、原田憲一郎、野間勇、秋本章一、井本芳正、福島久人、武波敏雄

△阿知須地区：渡辺光夫、佐藤昭典、藤重義春、中村稔、伊藤貞夫、上野篤彦、國重啓介、中尾雄、中戸秋吉、伊藤孝

△徳地地区：桑原亘、藏重秀雄、安田敏男、打道哲男、田中正弘、案野薰、井関恵

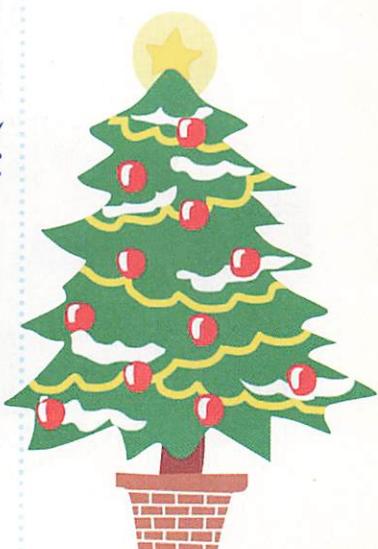
原田光久、永久市三、藤村勉、永松之生

△農協推薦委員 神田一夫、松田茂、松崎宏紀

△農業共済推薦委員 秋本茂雄

○土地改良区推薦委員 浅原利夫

○市議会推薦委員（学識経験者） 河村喜代子、中川惠美子、石本和子、藤村絹江



問合わせ 市農業委員会事務局（☎ 083-934-22882）

問合わせ 市農業委員会事務局（☎ 083-934-22882）

山口市コミュニティバス実証運行の状況について

○運賃改定後の状況

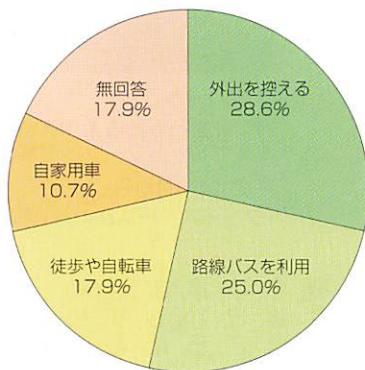
基本運賃を、100円から200円に改定した平成16年10月1日から平成17年9月末までの1年間と、前年の平成15年10月1日から平成16年9月末までの1年間をルート別に比較した結果は左表の通りです。利用者は、全体で約20パーセント減少していますが、収入割合は、運行経費の削減、運賃収入の増加を合わせて全体で約18パーセント伸びています。

	ルート	利用者数(人)	実車走行距離(km)	※運行経費(円)	運賃収入(円)	収入割合(%)
平成15年10月～平成16年9月 (A)	吉敷・湯田	121,429	137,201	28,254,039	11,347,201	40.2
	大内	103,652	134,437	27,724,275	9,684,701	34.9
	川西	60,995	156,674	32,315,557	6,069,815	18.8
	合計	286,076	428,312	88,293,871	27,101,717	30.7
平成16年10月～平成17年9月 (B)	吉敷・湯田	91,191	137,236	27,094,767	12,458,573	46.0
	大内	83,459	134,294	26,586,740	11,409,761	42.9
	川西	51,554	156,701	30,989,639	6,956,513	22.4
	合計	226,204	428,231	84,671,146	30,824,847	36.4
(B) / (A) %	吉敷・湯田	75.1	100.0	95.9	109.8	114.5
	大内	80.5	99.9	95.9	117.8	122.9
	川西	84.5	100.0	95.9	114.6	119.5
	平均	79.1	100.0	95.9	113.7	118.6

*各ルートの運行経費については、ルートごとの年間実車走行距離で全体の運行経費を按分したものです。

- 現在の運賃について
- 昨年10月の運賃改定は、他の公共交通機関との均衡を図ることのほか、市の財源のみでの事業の継続が難しく、応分の受益者負担による財源確保を目的としたものです。

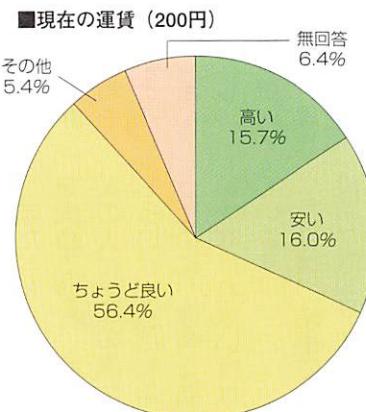
■利用回数が減った理由



また、運賃改定と同時に、70歳以上の高齢者などを対象とした、福祉優待バス乗車証制度を改定し、これまで無料で防長交通のバスにしか乗ることができなかつたものを、1乗車100円で中国ジェイアールバスや宇部市営バスにも乗車できるようにしたこと、路線バスへ移行した理由の一つと考えられます。

利用者の減少については、今年の7月に実施した利用者アンケート調査の結果によると、基本運賃が200円になり、利用回数が減った理由として「外出を控えた」が28.6パーセントと一番多いものの、「路線バスを利用する」も25パーセントあり、他の公共交通機関との運賃バランスの均衡が図られたものと思われます。

同アンケート調査で、この200円の運賃についてお尋ねしたところ、左表の通り「ちょうど良い」「安い」の回答が合わせて7割を超えており、利用者にも現在の運賃についての理解が得られているものと思われます。



問い合わせ 市都市計画課交通政策室
(☎ 083-9334-2720)

市政ココが知りたい！

市民のみなさんから多く寄せられたご質問に、お答えします。

消費生活相談（新聞の契約について）

うっかりして、新聞の契約が重なってしまいました。クーリング・オフ期間（8日間）を過ぎていますが、2紙も必要ないので、何とかならないでしょうか？

クーリング・オフ期間を経過すると、原則として消費者の一方的な理由での解約は、非常に困難です。解約は、消費者と販売店との話し合いになります。契約期間の遅い方の期間をずらすことも視野に入れて、販売店と交渉してみてください。

【アドバイス】

「景品が良いから」などの理由で、長期の契約や数年先の契約を結ぶことは避けましょう。契約書の内容をよく確認し、慎重に判断した上で、必ず自分で署名、捺印するようにしましょう。

■相談窓口

- ・市地域生活課 消費生活担当 ☎ 083-934-2764
- ・小郡総合支所総務課 ☎ 083-973-2411
- ・秋穂総合支所総務課 ☎ 083-984-8021
- ・阿知須総合支所総務課 ☎ 0836-65-4111
- ・徳地総合支所総務課 ☎ 0835-52-1112

■ フリースペース「和の家」について教えてください。
「和の家」は、知的・身体・精神障がいのある人や、その家族のための居場所、いわば「かけこみ寺」です。仲間づくりや交流の場、そして、精神的に行き場がない

秋穂町で、長年、福祉に携わってこられた藤井敏和さん。現在は、秋穂地区の民家を改築したフリースペース「和の家」で、障がいのある人たちを応援しています。障がい者やその家族が安心できる居場所づくりに励まれる藤井さんに、その思いを伺いました。

■ フリースペース「和の家」について教えてください。
「和の家」は、日常生活支援を行うなど、「自分らしく輝いて生きること」を応援しています。週3回の開放日には、2~3人のスタッフが対応し、看護師、介護支援専門員、

くなつた時に緊急避難場所として利用してもらつたり、思ひをもつてこれまで、この活動の原動力は何ですか？

言葉に励まされ、「やつて良かった」と実感できることが、運営への原動力になつていると思います。「もっと早くこんな施設が欲しかった」と言ってもらい、待ち望まれた施設なんだと感じましたね。

利用者のみなさんからの思ひを持つ現在のNPO法人の理事たちと意見を交わる間に大きくなり、同じ

ながら、「和の家」の準備を進めてこれました。

介護福祉士など、専門知識を持つ人もいるので、安心して利用していただけます。

■ 障がい者の居場所づくりを考えるきっかけは？

■ これから目標は？

秋穂町社会福祉協議会に勤め、障がい者が地域で生活することの難しさを感じました。疾患はないものの家から出られない「社会的ひきこもり」の人は制度から漏れ出し、障がい者も既存の施設と合わないと、行き場がなくなつてしまします。その現状に直面し、そういう人たちの避難所的なものを作りたいという思ひが、長年仕事で福祉に携わる間に大きくなり、同じ

うために、運営体制も整えてもらいたい、さらに利用してもらうために、「和の家」を知つてもらいたい、運営体制も整えていかなければいけないと思つています。

福祉は、結果ではなく途中段階が大切なんだと思います。だから、今日、そして今を大切に、これからも頑張つてください

たいと思います。秋穂町は、大きく西側の秋穂地区と東側の大河地区に分けられます。秋穂地区は、秋穂総合支所などの中心部や、秋穂湾、中道湾などの海側を含む一帯です。点在する秋穂八十八ヶ所霊場の札所や、国の重要文化財・正八幡宮など、ゆったりと歴史の散策を楽しむことができます。また日曜朝市では、特産の車えびはもちろん、とびきり新鮮な旬の海の幸が手に入ります！



まち再発見 行ってみてん来てみてん 山口市の知られざる魅力をご紹介します！

秋穂地区（旧秋穂町秋穂地区）

- 年間行事
 - ・お大師まいり（旧暦3月20日、21日）
 - ・えび狩り世界選手権大会（8月下旬~9月上旬）
 - ・浜村杯秋穂ロードレース（11月）

秋穂町は、大きく西側の秋穂地区と東側の大河地区に分けられます。秋穂地区は、秋穂総合支所などの中心部や、秋穂湾、中道湾などの海側を含む一帯です。点在する秋穂八十八ヶ所霊場の札所や、国の重要文化財・正八幡宮など、ゆったりと歴史の散策を楽しむことができます。また日曜朝市では、特産の車えびはもちろん、とびきり新鮮な旬の海の幸が手に入ります！

秋穂日曜朝市 日曜・祭日 午前8時~8時30分 山口県漁協秋穂支店魚市場広場



ウォーターフロント研究会

連絡先 阿知須4233-31 阿知須町商工会内
TEL 0836-65-2129

代表者 会長 西中正実



代表の西中さん

たくさんの人々に阿知須のよさを知ってほしいと思い、活動しています。歴史ある白壁の町並み、そして阿知須自慢のきらら交流公園を活用して、たくさんの人と交流したいですね。
一緒に阿知須を活性化してくれる若者大歓迎！

「阿知須町を活性化したい！」と、商店街の商店主有志が平成4年に立ち上げました。当初、町の中心を流れる井関川を町のシンボルにしようと活動していたことが、グループ名の由来です。

現在は、地域に多く点在するお地蔵様をまちおこしに生かそうと、毎年「お地蔵様ウォーク」を開催し、お地蔵様を巡りながら、阿知須の見どころが楽しめるように毎回工夫し、今年で8回目を迎えます。

また、4月と8月、たくさんの人がお参りに訪れる西条区の北向地蔵尊（嫁らく地蔵）での地蔵まつり縁日の接待も、地域の人たちの楽しみになっています。



おもな活動内容

- ・「お地蔵様ウォーク」の開催
- ・地蔵まつり縁日(4月24日、8月24日)での接待
- ・定例会（月1回）
- ・地域内のイベントへの参加・協力

12月4日(日)「あじすのお地蔵様＆きららウォーク」開催！午前9時から阿知須総合支所で受け付け（小雨決行）。どなたも自由に参加できます。



「まちグル」とは、まちで活躍する市民活動グループのこと。やこねつの造語。みなさんも「まちグル」のグルになつてみませんか？



小郡図書館 ボランティア

連絡先 小郡下郷609-1 市小郡図書館
TEL 083-973-0098

メンバー 14人

みなさんと、本や図書館を結ぶ架け橋になれるよう、それぞれの特技を生かして工夫しています。おはなし会では、子どもたちが目をキラキラさせて聞いてくれることが、大きな喜びです。ぜひ私たちと一緒に活動しませんか？



メンバーの福田さん、中本さん

平成11年、小郡町立小郡図書館（現市小郡図書館）のメンバー募集により活動が始まりました。初めはみんなで勉強会や研修を行い、図書館業務や読み聞かせについて研究しました。今でもお互いのアイデアや手法を学び合っています。小道具やポスターはすべて手作り。子どもたちにも寸劇に参加してもらうなど、参加型のおはなし会にする工夫が人気の秘密です。

「足を運びやすい図書館」を目指した明るい雰囲気づくりにメンバーも貢献しています！



おもな活動内容

- ・図書館の図書整理
- ・「おはなし会アップルパイ」や、児童クラブでのおはなし会の開催など
- ・ブックスタート事業への協力
- ・定例会（月1回月末整理日）

次回の「おはなし会アップルパイ」は、12月9日(金)、2月17日(金)の午前10時30分～11時30分です。
☆場所：市小郡保健福祉センター 入場無料



ドネーションパーティー（ドネーション＝寄付）

・・・ワンコインでつながる幸せ・・・

12月11日(日) 午前10時～午後4時

さぽらんてを中心に山口中心商店街にて

「だれもが暮しやすい社会」を目指して活動する市民団体をみんなに知ってもらい、100円の寄付で応援してもらうものです。12のエントリー団体と交流できる楽しいメニュー満載！

さぽらんて多世代交流

じいじのて ばあばのて まごのて
つなごう てとて

1月26日(木) 午後1時30分～3時30分
申込はいりません。

おじいちゃん、おばあちゃん、ちびっこたち、み~んな一緒に遊ぼうやあ～！

お知らせ

老人保健医療受給者証が変更になつた方へ

旧小郡町、旧秋穂町、旧阿知須町、旧徳地町で発行された老人保健医療受給者証をお持ちの方は、合併に伴い、受給者証が変更になります。

新しい受給者証は、11月末に送付しています。12月1日以降に医療機関で受診する際には、必ず新しい受給者証を提示し、番号の変更があつたことをお伝えください。

古い受給者証は、新しい受給者証送付時に同封してある返信用封筒で、12月12日（月）までに返送ください。

※古い受給者証をそのまま使用すると、医療費の支給に支障をきたす場合がありますので、ご注意ください。

■問い合わせ 市保険年金課（☎083-934-2803）各総合支所市民課▽小郡（☎083-973-8131）▽秋穂（☎083-984-8022）▽阿知須（☎0836-654-1113）▽徳地（☎0835-521-1111）3）

市行政改革推進委員会を募集します

市では、社会経済情勢の変化に対応した効果的で効率的な行政経営を目指し、「行政改革大綱」を策定することとしています。策定に当たり、ご意見・ご提言をいただく行政改革推進委員会の委員を募集します（10ページに関連記事掲載）。

■対象 18歳以上の市内在住者（高校生、国および地方公共団体の議員、常勤の公務員は除く）／応募時点で、本市の審議会等の委員でない方／2年間の任期中に年4回程度の会議に出席できる方

■定員 3人程度（選考委員会による選考）
■申し込み・問い合わせ 12月22日（木）までに「行政改革に提言したいこと」をテーマにした作文（400字詰め原稿用紙3枚以内）を添えて、郵便、FAX、Eメールのいずれかに、〒

住所、氏名、年齢、性別、学年または職業、電話番号、職場の連絡先を明記の上、市行政推進課（☎083-934-2909）FAX（083-934-2719）

55歳以上の方の仕事の相談や就職希望の受け付けなどを行います。

■受付時間 平日の午前8時30分～午後5時

✉ gyokaku@city.yamaguchi.lg.jp

県就職支援を募集します

就職活動での疑問や問題について、企業人事や採用事情に詳しいキャリアカウンセラーが、あなたの就職活動を支援します。事前に電話でご予約ください。

相談上知り得た秘密は厳守します。
■日時 12月14日（水）～3月22日（水）までの第2・4水曜日（全7日・12月28日を除く）、午前2回（9時、10時20分）、午後3回（1時、2時20分、午後3時40分）、各回70分程度

■場所 サンフレッシュ山口（湯田温泉五丁目5-1-22）
■申し込み・問い合わせ 市商工振興課（☎083-9334-2719）

■場所・問い合わせ 高年齢者職業相談室（下堅小路254市福祉センター内）☎083-923-6880
■貸付限度額 3000万円
■償還期間 10年以内（うち在学期間中で4年以内の据え置き可）
■貸付利率 年2・5パーセント（別に保証料必要）

※高等学校等の教育資金は、限度額70万円、償還期間3年以内（据え置きなし）

■申込先 中国労働金庫（貸付に当たっては、中国労働金庫の審査があります）
■問い合わせ 県東部労政事務所（☎0834-336-6441）、市商工振興課（☎083-934-2719）

ご利用ください

市高齢者職業相談室

55歳以上の方の仕事の相談や就職希望の受け付けなどを行います。

■受付時間 平日の午前8時30分～午後5時

19)

山口総合支所	〒753-8650	亀山町2-1-1	083-922-4111
小郡総合支所	〒754-8511	小郡下郷609-1	083-973-2411
秋穂総合支所	〒754-1192	秋穂東6570	083-984-2121
阿知須総合支所	〒754-1292	阿知須2743	0836-654-4111
徳地総合支所	〒747-0090	徳地堀1744	0835-521-1112

住宅用火災警報器の訪問販売にご注意を!

最近、「消防法の改正で、各家庭に火災警報器の設置が義務付けられた。すぐに取り付けないと法律違反になる」と契約を迫られたが、本当に設置義務があるのか」という相談が寄せられています。

落ち着いて対処しましょう

平成16年6月2日に消防法が改正され、一般住宅について、火災警報器の設置が必要になりました。新築の住宅は、平成18年6月1日から、既存の住宅は、市町村条例で定める日からの適用になります（市では平成23年6月1日までに設置する必要があります）。

契約を急がせたり、市場価格を超える高価格で販売する事業者もいますが、その場ですぐに契約しないで、他の事業者と比較するなど、契約は慎重に行なうことが大切です。契約書面を受け取った日から8日以内であれば、クーリング・オフができます。

市要約筆記奉仕員を派遣します

020 FAX 0836-88-306
ホームページ
<http://www.u-air.ac.jp>

高齢者雇用安定法が改正されました

少子高齢化の進行により、今後、労働力人口の減少が見込まれている中、わが

■問い合わせ ハローワーク山口 (☎ 083-922-0043)
■施行日 平成18年4月1日から

この法律改正により、事業主は定年の引き上げ、あるいは継続雇用制度の導入・定年の定めの廃止により、年金開始年齢までの安定した雇用の確保が義務付けられます。



「山口・小郡都市核づくり懇話会」の市民委員を募集します

市では、「*にぎわいのある都市核づくり基本計画」の策定にあたり、山口・小郡両都市核の機能のあり方について、広く市民、まちづくり団体、有識者等のみなさんのご意見をお聞きするため、「山口・小郡都市核づくり懇話会」を設けます。

懇話会における市民委員を募集しますので、奮ってご応募ください。

- ◇対象 まちづくりに関心のある市民6人程度
- ◇任期 平成17年12月～平成18年3月
- ◇懇話会 月1回程度の開催を予定しています。

■申し込み・問い合わせ 12月15日（木・必着）までに、直接または郵便、FAX、Eメールのいずれかで、〒住所、氏名、年齢、性別、電話番号を明記し、「にぎわいのある都市核づくり」に関する思いを800字以内にまとめ、市企画経営課（市役所2階☎ 083-934-2728 Fax 083-934-2642 ☎ kikaku@city.yamaguchi.lg.jp）

※「にぎわいのある都市核づくり基本計画」とは

都市としての求心力の源である都市核の魅力再生を図り、活性化に向けた方策の方向性を示すため、平成16年4月に策定した「にぎわいのある都市核づくり構想」に基づき、にぎわいを創出するシナリオと具体的なプロジェクトを提示するものです。

（なお、この計画および構想は山口都市核についてのものとなり、小郡都市核の計画等は、別途、策定する予定です。懇話会における意見は、両都市核の計画策定にあたっての参考とさせていただきます）

「にぎわいのある都市核づくり構想」は、市のホームページに掲載しています（アドレスは表紙参照）。

■問い合わせ 市地域生活課（☎ 083-934-2764）各総合支所総務課▽小郡（☎ 083-973-2411）▽秋穂（☎ 083-980-21）▽阿知須（☎ 083-654-1111）▽徳地（☎ 083-52-1112）

■資料請求・問い合わせ 放送大学山口学習センター（〒756-10884山陽小野田市大学通1-1-1山口東京理科大学構内）
0836-88-306-88-306

平成17年度秋の叙勲受賞者（山口市関係）

秋の叙勲を市内在住の方方が受章されました。（）内は功績、年齢、住所、主要経歴です。（敬称略）

■瑞宝中綬章

土藤清勝（通産行政事務功労 71 大内御堀
元工業技術院中国工業技術試験所長）

■瑞宝小綬章

秋本博之（地方自治功労 70 嘉川 元県農林部長）
伊藤健男（教育功労 75 陶 元公立高等学校長）

兼森 定（警察功労 79 大内御堀
元県警本部保安部長）

小谷 潔（裁判所事務功労 72 大内御堀
山口地方裁判所民事首席書記官）

藤井多喜男（裁判官功労 71 下小鰐
元徳山簡易裁判所判事）

八尋武夫（裁判所事務功労 71 宮野下
山口家庭裁判所首席家庭裁判所調査官）

■瑞宝双光章

岡 利樹（地方自治功労 70 天花
元県監査委員事務局長）

浅原 茂（警察功労 76 大内御堀 元警視正）
伊藤 博（警察功労 76 旭通り 元警視正）

岩田英留（警察功労 77 赤妻町 元県警視）

金子 均（警察功労 77 平井 元警視正）
齋藤触義（警察功労 76 矢原 元警視正）
藤本克章（警察功労 76 大内御堀 元県警視）
山近壽雄（警察功労 77 宮野下 元警視正）
山根 亨（警察功労 77 小郡上郷 元警視正）

■旭日単光章

三好正之（地方自治功労 88 阿知須 元阿知須町長）

■瑞宝単光章

梅田徳一（矯正業務功労 69 平井 元法務事務官）

岡村 隆（警察功労 78 宮野下 元県警部）
柏 洋征（防衛功労 61 宮野上 元3等陸尉）

河野正昭（防衛功労 61 宮野下 元3等陸尉）
後藤正三（矯正業務功労 69 松美町 元法務事務官）

末永博明（防衛功労 61 宮野下 元准陸尉）
田村幸彦（消防功労 大内御堀 75）

元山口・小郡消防組合消防指令）

豊田惠一（警察功労 78 古熊 元県警部）
西岡嘉夫（警察功労 76 小郡上郷 元県警視）

春 良一（防衛功労 61 下小鰐 元准空尉）
古谷武傳（矯正業務功労 69 大内矢田 元法務事務官）

海外の恵まれない人々に援助の手をさしだべる「NHK海外たすけあい」を12月25日（日）まで実施します。
寄せられた義援金は、自然災害や紛争などによる犠牲者への緊急救援および発展途上国の赤十字社が行う保健衛生、灾害対策事業などの開発協力に役立てられます。みなさんのご協力をお願いします。

■義援金の受付窓口

郵便局、取扱表示

のある金融機関、農協、漁協、NHK
山口放送局（中園町2-1-1）、日本赤十字社山口支部・血液センター（野田

172-15）、山口赤十字病院（八幡

馬場53-1）

問い合わせ 日本赤十字社山口県支
部（☎083-922-0102）

■参加費 1000円（小為替か現金封筒）
※大会当日は、選者である浜名理香氏による講演「平常の歌」があります。

■申し込み・問い合わせ 平成18年1月7日（土・必着）までに、〒住所、

氏名を明記の上、郵便で県婦人教育文化会館内短歌大会係（〒753-0056湯田温泉五丁目1-1 ☎083-922-2792）

平成18年2月11日（土）に、県婦人教育文化会館で開催される第20回山口市合同短歌大会への作品を募集します。作品の応募は一人一首（未発表のもの）で、どなたでも参加できます。ぜひ応募ください。

山口市合同短歌大会の 作品を募集します

問い合わせ 市立湯田中学校（☎083-922-0110）

足湯の清掃による 利用制限のお知らせ

湯田中学校のボランタリーサービス活動の一環として、湯田温泉内の足湯の清掃が行われます。清掃中は、足湯を利用できませんので、ご了承ください。
※足湯の場所は市観光ホームページに掲載

<http://www.city.yamaguchi.kanko/joho/map5.html>

日時 12月16日（金）正午～午後3時
kanko_joho/org/

一人で悩まず相談を！ ハートラインやまぐち

犯罪や災害・事故の被害者支援を行っています。希望により、弁護士・医師・警察、その他相談機関への紹介も行います。

電話番号 083-974-5115
相談日時 毎週火曜日午前10時～午後1時、毎週木曜日午後6時～9時

（問合せ）山口市警察署（☎083-922-0110）

12月

イベントカレンダー

4 (日) プレ国民文化祭・やまぐち2006
第5回山口県日本舞踊祭

- 9:30 ◇場所 市民会館（中央二丁目5-1）
- 15:00 ◇入場料 一般2,000円
- ◇問い合わせ 実行委員会事務局（☎083-934-2892）

11 (日) AJISU駅伝大会

- 9:00 ◇スタート・ゴール 阿知須公民館前
- 12:00 ◇問い合わせ 実行委員会事務局（☎0836-65-2022）
※出場申し込みは終了

15 (木) プレ国民文化祭・やまぐち2006

王子江さんの水墨画公開制作

- 11:00 ◇場所 大殿小学校体育館
- 12:00 ◇問い合わせ 実行委員会事務局（☎083-934-2892）

28 (水) あいお道の駅まつり

- 9:00 ◇内容 ぜんざい無料サービス（先着250人）、特産品・正月用品の展示即売、もちつきなど
- 12:00 ◇問い合わせ 秋穂産業振興協会（☎083-984-2738）

29 (木) 山口パークロード年末朝市

- 6:30 ◇場所 パークロード（県立美術館前歩道内）
- 9:30 ◇内容 正月用品（しめ縄、農産物など）の販売
- ◇問い合わせ 年末朝市実行委員会（山口市シリバーリンクセンター内）（☎083-924-5396）



日本のクリスマスは山口から クリスマスイルミネーション2005

～12月25日（日）まで開催中～

- ◇場所 C・S赤れんが（中河原町5-12）
- ◇時間 午後5時30分～10時30分
※12月24日（土）は午後5時30分から翌日の午前5時30分まで
※12月25日（日）は午後5時30分から翌日の午前零時まで

■問い合わせ 山口商工会議所青年部（☎083-925-2300）

初日にちかう会

- ◇集合 長者ヶ池駐車場に午前6時30分
※長者ヶ岳に登ります。
- ◇内容 豚汁・おしるこの振るまいなど
- ◇問い合わせ 徳地総合支所串支所（☎0835-54-0222）

鴻の峰新春登山

- ◇集合 木戸公園前広場に午前6時10分
※全行程約5.5キロメートル
- ◇問い合わせ 市スポーツ振興課（☎083-934-2874）

見初元旦に

元旦登山

- ◇集合 小郡公民館前に午前6時10分
※目的地 雨乞山
- ◇内容 山頂での年頭式など
- ◇問い合わせ 小郡公民館（☎083-973-0638）

草山や秋穂莊からの眺めもオススメ！

- ◇問い合わせ 秋穂総合支所経済課（☎083-984-8027）

岡山靈廟からの眺めもオススメ！

- サンパークあじす近くの丘の上にある三角の塔です。
- ◇問い合わせ 阿知須総合支所総務課（☎0836-65-4111）

■足元が暗いので懐中電灯を忘れずにお持ちください。

ご覧ください

山口市の広報番組
12月の放送予定です



発見!
やまぐち

3コーナーで構成。人やまちの魅力を紹介する、市民参加型の情報番組です。

山口ケーブルビジョン（12チャンネル）

曜日	12/1(木) ～15(木) ①	12/16(金) ～30(金) ②
月・水 金・日	7:35 *12:25 18:05 *22:10	7:35 12:05 18:05 21:50
火・木 土	*7:55 12:05 *18:25 21:50	

※「infoやまぐち」「ごっぽうええのお～」のみの放送（20分）

このまちに愛たい（20分）

- ① 「おもてなしの心でまちづくり『山口市阿知須』」
- ② 山口の熱い起業家がつくる『やまぐち夢づくり交流会』

infoやまぐち（10分）

- 1週間更新で、市からのお知らせを放映
- 「ごっぽう ええのお～」（10分）
市内のいいモノ、ヒト、トコロなどを「ごっぽう」楽しくご紹介します。



市政のPRから地域情報まで、生活に身近な話題を幅広くお届けします。

山口朝日放送（YAB）

毎週水曜日午後1時55分から4分間放送

7日「子どもチャレンジショップで起業家体験」

14日「健康シリーズ 認知症」

21日「母推さんのレッツゴークリスマスパーティー」



主に市政および市からのお知らせを分かりやすくお伝えする番組です。

テレビ山口（TYS）

毎週日曜日午前11時40分から4分間放送

4日「行ってみよう！さぼらんて」

11・18日「インフルエンザ撃退法」

25日「年末年始の窓口業務」

ラジオ番組

Radio Program



シティ・インフォメーション

FM山口 毎週月・金曜日の午前9時26分から4分間放送

やまぐちマイタウン

山口放送（KRY） 毎週木曜日の午後1時40分から5分間放送



シャッターチャンス!

手作りのお人形、いくつあるのかな?

阿知須の秋の恒例行事「あじすふれあいまつり」が行われました。白と黒の格子模様のなまこ壁が美しい、居蔵造の街並みが残る縄田地区一帯では「街角ぎゃらリー」が開催され、開放された民家や商店で、色鮮やかな手作り作品が展示され、多くの人が賑わいました。(11月20日)



ベストを尽くして

素晴らしい青空の下、浜村杯秋穂ロードレースが行われました。今回で第14回を迎えるこの大会は、昭和30年にボストンマラソンで優勝し、その後マルボルンオリンピックにも出場した旧秋穂町出身の故浜村秀雄氏の偉業を讃えて開催されているものです。県内外から参加した約800人の選手が、健脚を競いました。選手たちは、沿道から多くの声援を受けながら、秋の秋穂路を駆け抜けました。(11月20日)



そうれ!勢いよく放水するぞ

小郡総合支所と小郡公民館の周辺で、「おごおり文化祭」が行なわれました。写真は、同時に開催された「消防まつり」での一コマ。交互に上下させて水を汲み上げる消防ポンプの面白い動きに、子どもたちは大はしゃぎ。汲み上げた水は放水体験のホースにつながっているため、「おーい、もっと水を出してー」と消防団員に言われながらも、楽しみながら立派に役目を果たしていました。(11月3日)



この後市長は、職務執行者との事務引き継ぎのうち、当選証書を受け取り、新市長としての職務を始めました。

管理職が出席した市長就任式では、職員に向けて「みなさんと一緒に、「市民が幸せになるまちづくり」に取り組んでいきたい」と訓辞しました。

11月14日、渡辺新市長が市役所に初登庁し、正面玄関前で職員に拍手で出迎えられました。到着を待っていた飯田市長職務執行者と固い握手を交わし、新市建設に向けた熱い思いを受け継ぎました。

表紙写真説明

今年の主な出来事(8・9ページ)の記事を作成するため、旧市町の広報紙1年分を読み返しました。「あー、こんなこともあったなあ…」と懐かしい気持ちになりましたが、『新しい市の新しい年が、良い記事だけいっぱいになるといいなあ』と思う37歳の冬でした。